

「健康なかがわ21（第二次）」計画の進捗状況

出典
 ※岐阜県：第3次ヘルスプラン岐阜21中間評価報告書（R3年3月）
 ※国：健康日本21(第二次)最終評価報告書(R4年10月)

※現状値に○がついた項目は計画策定時より改善したものの
 赤字は令和4年度新規・拡大事業

資料1

分野		項目	策定時項目	現状値項目		参考:岐阜県		参考:国		目標値項目		令和4年度 健康づくり事業の主な取り組み							
健康 の 延 伸	健康 の 延 伸	健康寿命の延伸(日常生活が自立している期間の平均の延伸)	男性 78.87 女性 83.21	H22年	男性 79.9 女性 86.4	R2年		男性72.68 女性75.38	R1年 ※4	延伸	R5年 (2023年)								
		①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	80.2	H22年	69.7	R2年	67.3	R1年 ※9	70.0	R1年 ※1・9	減少傾向へ	R5年 (2023年)	①発症予防 ・肝炎ウイルス検査費用の公費助成(40歳と45.50.55.60歳で初めて受ける方) ②がん検診受診率の向上 ・がん検診手帳(説明書)の配布と無料検診の実施 ・子宮頸がん検診 20歳 乳がん検診 40歳 ・胃がん検診のコール、リコールと無料検診の実施(50.54.58.62歳) ・土曜日検診(6回)の実施 ・検診時に託児の実施 ・国民健康保険加入者への受診勧奨 ・生命保険会社等と協働し、がん検診受診勧奨のリーフレット配布 ・特定健診との同日受診(19回)の実施 ・Web予約システムの導入によるがん検診予約の受付・管理 ③重症化予防 ・精密検査対象者に対する受診勧奨(郵送に加えて電話での再勧奨) (注)がん検診受診率の算出方法が平成28年度より変更され、対象者数は対象年齢の全住民(人口割)とする						
生活 習 慣 病 の 発 症 予 防 と 重 症 化 予 防 の 徹 底	がん	②がん検診の受診率の向上	H23人口割(受診人数)																
		・胃がん(50-69歳)	男性 4.7%(452人) 女性 8.2%(756人)	男性 8.3% 女性 9.6%	H23年度	男性 4.9%(349人) 女性 7.1%(489人)	43.7	R1年 ※4	男性 48.0 女性 37.1	R1年 ※4	50%	令和5年度 (2023年度)							
		・肺がん(40-69歳)	男性 6.4%(1,030人) 女性 14.6%(2,383人)	男性 16.6% 女性 24.8%		男性 3.7%(559人) 女性 8.4%(1,232人)	51.2		男性 53.4 女性 45.6										
		・大腸がん(40-69歳)	男性 3.8%(605人) 女性 7.3%(1,193人)	男性 9.7% 女性 12.4%		男性 3.0%(442人) 女性 5.5%(806人)	46.5		男性 47.8 女性 40.9										
		・子宮がん(20-69歳)	女性 18.4%(2,907人)	35.4%		12.2%(1,929人)	42.5		43.7										
		・乳がん(40-69歳)	女性 23.4%(2,516人)	39.7%		17.6%(1,942人)	47.8		47.4										
		①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)																	
	・脳血管疾患	男性 51.3 女性 28.0	H22年	男性 34.9 女性 21.0		R2年	男性 33.1 女性 17.9		H30年 ※1					男性 33.2 女性 18.0	R1年 ※1	減少	令和5年 (2023年)	①特定健診未受診者対策 ・情報提供事業の実施(対象者の拡大) ・電話、ハガキ、訪問等による受診勧奨 ・市内医療機関に治療中者の健診受診の協力を依頼。 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ③重症化予防 ・重度の高血圧者に対する医療機関への受診勧奨及び継続受診の勧め ・治療中断者に対し治療継続の勧め ・本人の希望に応じて保健指導、栄養指導を実施 ※情報提供事業 生活習慣病で治療中の方の同意を得て、治療の一環として実施した血液検査等の結果を医療機関から提供してもらい、特定健診結果として取り扱う事業	
	・虚血性心疾患(急性心筋梗塞)	男性 22.0 女性 8.7		男性 9.8 女性 5.0	男性 24.0 女性 8.4		男性 27.8 女性 9.8	減少											
	②高血圧の割合の減少(140/90mmHg以上の人の割合)	男性 31.6%(712人) 女性 29.4%(985人)	H23年度	男性 31.6%(519人) 女性 27.8%(614人)	R3年度						減少	令和5年度 (2023年度)							
	③脂質異常症の減少(LDLコレステロール160mg/dl以上の人の割合)	男性 9.2%(184人) 女性 15.3%(464人)		男性 10.2%(168人) 女性 13.4%(296人)		男性 11.4 女性 12.5	H28年 ※8	男性 9.8 女性 13.1	R1年 ※6	男性 6.2% 女性 8.8%									
	④メタボリックシンドローム予備群・該当者の減少	予備群・該当者 20.8%(1,067人)	H23年度 (法定報告)	28.6%(1,201人)	R2年度 (法定報告)	平成20年度と比べて3.6%の減少	H29年 ※2	約1,516万人	R1年度 ※2	平成20年度と比べて25% 減少 18.8%		令和5年度 (2023年度)							
⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上																			
・特定健康診査の実施率	36.1%(5,125人)	37.9%(4,198人)		53.2		H30年 ※2	55.6	R1年度 ※2	60%	令和5年度 (2023年度)									
・特定保健指導の終了率	51.8%(255人)	65.1%(252人)	29.8		23.2		80%												
糖尿 病	①糖尿病有病者の増加の抑制(服薬中またはHbA1c6.1%(NGSP値6.5%)以上の人の割合)	8.9%(499人)	H23年度	10.4%(399人)	R3年度			(参考値) 1,150万人	R1年 ※6	減少	R5年度 (2023年度)	①特定健診未受診者対策 ・情報提供事業の実施(対象者の拡大) ・電話、ハガキ、訪問等による受診勧奨 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ③重症化予防 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施(糖尿病治療中の対象者をHbA1c7.0から7.5に変更) ・治療中断者やHbA1c6.5以上で未治療の者に対し治療の勧め ・治療中の希望者については医師の指示のもと、管理栄養士による栄養指導を実施							
	②治療継続者の割合の増加(前年度当該年度共に服薬ありと回答した人の割合)	84.0%(163人)		88.0%(168人)			67.6	R1年 ※6	現状維持										
	③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の人の割合)	0.4%(18人)		0.5%(20人)		1.1	H29年 ※8	0.94	R1年度 ※8	現状維持									

「健康なかがわ21（第二次）」計画の進捗状況

出典
 ※岐阜県：第3次ヘルスプラン岐阜21中間評価報告書（R3年3月）
 ※国：健康日本21(第二次)最終評価報告書(R4年10月)

※現状値に○がついた項目は計画策定時より改善したもの
 赤字は令和4年度新規・拡大事業

資料1

分野	項目	策定時項目		現状値項目		岐阜県			国			目標値項目		令和4年度 健康づくり事業の主な取り組み
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	慢性腎臓病	①糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少	9人	H23年	○8人	R3年	256人	H30年※3	16,019人	R1年※3	減少	R5年(2023年)	①発症予防 ・妊婦健診における将来の生活習慣病ハイリスク者に対する産後フォローの実施(定期健診のすすめ) ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ②重症化予防 ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 中津川・恵那地域 糖尿病腎症重症化予防プログラム連携会議への参加。 ・腎機能低下の原因となる糖尿病、高血圧、高尿酸等の改善のため、腎機能低下者に対する食生活改善指導や必要に応じて受診勧奨 ・岐阜県CKD医療連携マニュアル、ツールの活用	
		①適正体重を維持している人の増加(肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少)												①健康な食(バランス食)の普及 ・中津川市食生活改善サポーターによる減塩バランス食(けんぱちくん弁当)の普及啓発 ・ちこり村でけんぱちくんサンドの販売 ・スマイル、ディアクックでけんぱちくん弁当を販売 ・企業の給食施設でけんぱちくん弁当レシピを活用(恵美グループ、美濃工業) ・学校給食で、けんぱちくんメニュー給食を月1回実施 ②減塩の意識づけと高血圧、脳血管疾患普及啓発 ・3歳児健診での尿中塩分量測定と過剰摂取者へ個別栄養指導の実施 ・特定健診二次検査で尿中塩分量測定と過剰摂取者へ個別栄養指導の実施 ・阿木地域減塩プロジェクトにおける減塩指導・啓発の実施 ③食育推進会議の実施 ④食育指導者研修会の実施 ⑤学校の希望により、肥満及びやせ、血液検査、血圧において異常のあった児童・生徒及びその保護者に対して栄養・食生活改善指導を実施 ⑥特定健診結果より肥満であった方に対し、食生活改善のための個別保健指導を実施 ⑦市広報、ホームページ及び民間の料理サイト(クックパッド)を活用し、食べて健康レシピ(野菜を使った手軽にできるメニュー)を配信 ⑧食べて健康レシピの冊子(vol.6)「薬物野菜をおいしく食べよう」を作成し市内スーパー等に配置予定
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	栄養・食生活	・20歳代女性のやせの人の割合の減少(妊娠前にやせの人の割合)	22.6%(70人)	H23年度	○19.4%(38人)	R3年度			20.7	R1年※6	20%	R5年度(2023年度)		
		・全出生数中の低出生体重児の割合の減少	9.6%(64人)	H22年	11%(47人)	R2年			9.4	R1年※1	減少傾向へ	R5年(2023年)		
		・肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学5年生の中等度・高等度肥満傾向児の割合)	男子 4.28% 女子 2.88%	H24年度	○男子 3.95%(14人) 女子 3.19%(11人)	R3年度			男子 5.12 女子 3.63	R1年※7	児童・生徒における肥満傾向児の割合 7.0%	R5年度(2023年度)		
		・30～60歳代男性の肥満者の割合の減少	23%(331人)		32.0%(274人)				20～60歳代 35.1		現状維持又は減少			
		・40～60歳代女性の肥満者の割合の減少	14.4%(294人)	H23年度	18.5%(202人)	R3年度			22.5	R1年※6	現状維持又は減少	R5年度(2023年度)		
		・低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の減少	21.1%(713人)		21.8%(632人)				16.8		22%			
		②朝食欠食者の減少	3歳児 4.4% 5歳児 1.6% 小学生 1.1% 中学生 5.5%	H23年度(5歳児はH24年度)	○3歳児 1.3%(7人) 5歳児 0.3%(5人) 小学生 3.2%(67人) 中学生 7.7%(85人)	R3年度						0%	R5年度(2023年度)	
	③朝食共食者の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	5歳児 92.8% 小学生 84.9% 中学生 63.1%	H23年度	○5歳児 89.3%(1357人) 小学生 94.6%(1961人) 中学生 79.9%(880人)	R3年度			朝食 小学生 12.1 中学生 28.8 夕食 小学生 1.6 中学生 4.3	R3年※11		増加傾向へ	R5年度(2023年度)		
身体機能の維持・向上	①運動習慣者の割合の増加												①壮年期・中年期の方の運動のきっかけ作りで、アプリを利用したウォーキングを実施 ②特定健診受診者に自宅でできる体操について、リーフレットを活用した普及啓発 ③県の健康ポイント事業を活用した健康づくりの普及啓発	
	・30～64歳	男性 29.9%(267人) 女性 23.3%(299人)	H23年度	男性 28.6%(134人) 女性 22.6%(132人)	R3年度			20～64歳 男性 23.5 女性 16.9	R1年※6	男性 36% 女性 33%	R5年度(2023年度)			
	・65歳以上	男性 46.8%(572人) 女性 45.8%(861人)		男性 41.5%(477人) 女性 37.7%(584人)				男性 41.9 女性 33.8		男性 58% 女性 48%				
	②介護保険サービス利用者の増加の抑制	3,207人(13.8%)	H22年度	4,402人(17.4%)	R3年度			567万人	R1年※12	4,666人(18.7%)	R7年度(2025年度)	* ()内は介護保険第1号被保険者 サービス利用率		

「健康なかつがわ21（第二次）」計画の進捗状況

出典
 ※岐阜県：第3次ヘルスプラン岐阜21中間評価報告書（R3年3月）
 ※国：健康日本21(第二次)最終評価報告書(R4年10月)

※現状値に○がついた項目は計画策定時より改善したもの
 赤字は令和4年度新規・拡大事業

資料1

分野	項目	策定時項目	現状値項目	岐阜県	国	目標値項目	令和4年度 健康づくり事業の主な取り組み					
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	飲酒	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少 (一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人の割合)	男性 12.7%(267人) 女性 6.3%(201人)	H23年度	男性 12.0%(202人) 女性 6.7%(151人)	R3年度	R5年度(2023年度)	①ハイリスク者へのはたらきかけ ・アルコール電話相談の実施(月1回) ・健診受診者への個別指導 ②適正飲酒の推進 ・健診受診者への個別指導 ・「もっとなかつがわ」にてパッチテストの実施 ③禁煙支援の推進 ・禁煙電話相談(月1回)、個別支援(随時) ④改正健康増進法の周知 ⑤母子保健事業における禁煙支援実施 ⑥健全な歯・口腔の育成支援 ・歯科相談・フッ素塗布を個別実施 ・フッ化物応用の推進 ・園児・小学4年生・中学1年生を対象に、歯科保健教室を実施 ・嗜ミング30の普及 ⑦歯周病の早期発見・重症化予防・セルフケア能力の向上支援 ・妊婦歯科健診、節目歯科健診(30、40、50、60、70歳)を医療機関委託にて実施 ・1歳児相談に来所した保護者を対象に歯周病予防教育の実施 ・出前講座、教室等での歯周病予防、口腔機能維持、向上教育の実施 ・8020運動の推進・表彰(表彰式が中止となったため訪問にて実施) ⑧自殺に関する知識の普及啓発 ・自殺対策計画の推進 ・窓口担当者会議の実施 ・健康推進員を対象としたゲートキーパー研修の実施 ⑨心のなんでも相談 ⑩健康づくり活動の実施 ⑪地域への健康情報の回覧 ⑫健康づくり推進協議会の開催 ⑬食育推進会議の開催 ⑭CKD予防実務担当者会議の開催 ⑮市ホームページの健康づくりのページにてイベント情報など掲載 ⑯健康づくり取り組み隊の募集・市ホームページで情報提供 ⑰けんぱちくんマイデザインを募集し、ポロシャツを製作してもらうことによる健康づくり活動の普及やきっかけづくり ⑱教育委員会と連携し、中学校毎でけんぱちくんマイデザインを作成。 ⑲都市建築課と連携し、健康づくりをテーマとした公園活用イベント「もっとなかつがわ」を実施。健康に関する啓発活動を実施。				
		②妊娠中の飲酒をなくす	4.6%		0.78%(3人)				1.0	R1年※5	1.0	R1年※5
	喫煙	①成人の喫煙率の低下	12.1%(640人)	H23年度	11.6%(458人)	R3年度	男性 28.5 女性 6.7		R1年※4	16.7	R1年※6	10%
		②妊娠中の喫煙をなくす	2.1%(12人)		0.0%		1.5		R1年※5	2.3	R1年※5	0%
	歯・口腔の健康	①歯の喪失防止										
		・60歳で24歯以上の歯を有する人の割合の増加	69.7%(124人)	H23年度	79.5%(89人)		--			74.4	H28年※13	現状維持
		・40歳で喪失歯のない人の割合の増加	89.7%(124人)		86.9%(53人)		--			73.4		90%以上
		②歯周病を有する人の割合の減少										
		・20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	42.7%(96人)	H23年度	80.0%(44人)		--			21.1	H30年※6	25%
		・40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	32.6%(45人)		54.1%(33人)		--			44.7	H28年※13	25%
・60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少		59%(105人)		64.3%(72人)		--		62.0		45%		
③幼児・学齢期のむし歯のない子の増加												
こころの健康・健康	①自殺者数の減少(人口10万人当たり)	19.8	H22年	15.3	R2年	16.3	R1年※1	15.7	R1年※1	死亡率 20.5		
	①健康推進員活動	実施		実施						実施継続		
健康づくりに取り組み強化	市民団体と											
	と関係機関	①連絡会議の開催	実施	H23年度	実施	R3年度				実施継続		
	健康情報の提供	①健康情報の提供	実施		実施					実施継続		

- ※1 人口動態統計
- ※2 特定健康診査・特定保健指導の実施状況
- ※3 社法日本透析医学会
- ※4 国民生活基礎調査
- ※5 母子保健事業報告
- ※6 国民健康・栄養調査
- ※7 学校保健統計調査
- ※8 NDBオープンデータ
- ※9 がん統計
- ※10 地域保健・健康増進事業報告
- ※11 科学技術振興機構 研究
- ※12 介護保険事業状況報告
- ※13 歯科疾患実態調査